

第7回大学図書館学生協働交流シンポジウム

図書館がきりひらく航路^{ミライ}

－悩み解決・つながり強化－

2017. 9. 5(火) - 6(水)

愛媛大学 城北キャンパス

質問カードへの回答集

質問カードへの回答

今回のシンポジウムでは、ポスターセッション時にコメント&質問カードというものを用意しました。これは、各ポスターや各大学の取り組み等について、参加者に自由にコメントや質問を書いてもらう試みです。

その中でカードで質問を受けた5館にお願いし、回答をいただきました。実施記録ページの**コメント&質問カード集**と合わせてご参照ください。

☆実施記録ページ <http://www.lib.ehime-u.ac.jp/sympo2017/index.html>

質問先 熊本学園大学	Q: 「コンシェルジュリポート」はブログのようなものですか？
	A: コンシェルジュリポートは、元々は紙媒体で「学生目線の図書館活用のコツやアイデアをコンシェルジュ自身のエピソードとともにお伝えする新聞」として、年に数回発行していたものです。 情報発信スピード向上のため、今年からフェイスブックを使った発信に移行しました。 ブログのようにオンライン上でのコメントによる交流は行っていないですが、図書館に足を運んでくれている学生さんがよく見てくれているようです。

質問先 熊本学園大学	Q: 制服（ネクタイとエプロン）？は支給制なのでしょうか？とても良いアイデアだと思います！
	A: 制服（ネクタイとエプロン）は貸与制です。 毎年、先輩学生コンシェルジュから後輩学生コンシェルジュが引き継ぎ、シャツは各自私物を使用しています。 当初は学生アルバイトと同じエプロンを着用していたのですが、アルバイトとの差異化をはかるため、当時の学生コンシェルジュの要望を元に現在のスタイルが採用されました。 デザインも学生の意向を反映させています。

質問先

徳島大学
学びサポート
企画部

Q:

卒論発表会実現までのプロセスを教えてください。

A:

2016年度「全力卒論発表会」開催までのプロセス

※ 全力卒論発表会とは

学生に自身の卒論について発表してもらい、他学部の学生や下級生に研究に対する関心を高めてもらう企画。（発表する学生を以下、プレゼンターと呼ぶ）

1. 開催に至った経緯

もともと、2014年度に1度開催していて、その話を昨年度の学生協働シンポジウム（会場：香川大学）で発表すると反応がよかったので、再び開催してみようと思った。

2. 開催までの流れ

（「学びサポート企画部イベント準備マニュアル」（次ページ）を参照ください）

①プレゼンターの検討・依頼（開催日の3か月前～）

プレゼンターは基本的に、部活の先輩に声をかけて依頼していた。この時に注意したことは、同じ学科を避けること、理系・文系両方の学生を確保することである。

②開催日・開催場所の決定（開催日の2か月前～）

開催日となる候補日をいくつか用意して、プレゼンターと相談しながら開催日を決定した。また、今回は日程調整の結果、連日開催ではなく、飛び飛びの日程での開催になった。

開催日の決定後、開催場所の検討を行った。開催場所は図書館のラーニング・コモンズとし、利用申請を出して場所を予約した。

③広報ポスターの作成（開催日の2か月前～）

②と同時並行で、広報ポスターを作成し、学内の様々な場所に掲示した。

④イベント当日までの準備（開催日の1週間前～）

イベント当日に必要なものを確認し、メンバーで役割分担を行った。（会場設営、準備物、司会原稿、放送原稿、アンケートなど）

⑤イベント当日

会場設営、配布資料の準備、プレゼンター対応、館内放送による広報を行った。

会場案内、イベントの司会・進行、後片付けを行った。

⑥イベント終了後

プレゼンターにお礼のメールを送った。また、そのメールにはアンケートの集計結果も添付した。

実際にやってみて浮き上がってきた課題や、アンケート結果を踏まえて次回開催するときの注意点を確認した。

◆イベントの計画（遅くとも2週間前までに完了すること）

- 企画書の作成（随時更新）
- 協力者への依頼
- 準備スタッフの確定
- チラシ作成・掲示・配布
- 場所の予約（机など）
- アンケート項目の検討・用紙の作成

◆イベント直近の準備（前日まで）

- 司会原稿・放送原稿の準備
- カメラの準備（充電・容量などの確認）
- 準備物の用意・確認（パソコン・マイク・バインダー・鉛筆・アンケート用紙）

◆イベント当日の準備

- マウスパッドの準備
- パソコン・マイクの接続・音量調整
- 会場設営、資料の設置・配布（アンケート用紙含む）
- カメラの用意
- 館内放送（30分前～、数回）
- その他の案内（立て看板の移動、ホワイトボードで案内など・・・）

◆イベントの最中

- 写真撮影
- 参加者数の確認
- 質問を考える（必要に応じて）

◆イベント終了後

- 協力者へのお礼
- アンケート集計・考察の作成
- 反省会の実施・次回イベントでの注意点の洗い出し

<p>質問先 <u>島根大学</u></p>	<p>Q: ツイッターをしたいのですが、ツイッターによる効果はありましたか？</p>
	<p>A: 今年の3月からTwitterを始めたのですが、Twitterを見て4月のコンシェルジュの見学に来てくれた方が4人ほどいました。 また、Twitterで他大学の図書館団体との交流をする事が出来ます。今までにない企画を知る事が出来たり、お互いに「いいね」をする事で活動の励みにもなります。</p>

<p>質問先 <u>就実大学</u></p>	<p>Q: ブックカバーの作り方の見本は、データとして全員で共有していますか？</p>
	<p>A: 最初の頃は、図書館サポーターが活動に来る度に、教えていましたが、今年度より人数が増えたこともあり、学生が使用しているe-learningのシステムに図書館サポーターのコースを作り、そのコースの中に、ブックカバーの作り方を載せています。 コースに載せたことにより、全員が情報を共有できるようになりました。</p>

質問先 山口大学 総合図書館	Q: クリスマスのお楽しみ袋はどのくらい準備していますか？
	A: 10冊分くらい準備しました。

質問先 山口大学 総合図書館	Q: 福袋を借りた人からの反応はありましたか？
	A: クリスマスラッピングのことでしょうか。 そちらはとても良かったと言っていただきました。 ラッピングして本がどんな本なのかというヒントを書いたカードを用意したのですが、それを読んでどんな本が楽しみだと言って借りられる方もいました。

<p>質問先</p> <p>島根県立大学 短期大学部松 江キャンパス</p>	<p>Q:</p> <p>らぶちゃんのグッズ化、帯のデザイン等でデザイナーさんとどのように関わりを持たれたのですか？きっかけなど教えていただきたいです。</p> <p>A:</p> <p>当館で、デザイナーの渡辺ゆきのさんが取り組んでおられるkumori(https://kumori.info/)に参加させていただいたのがきっかけです。</p> <p>グッズ化は、kumoriを始めた関係で渡辺さんが来館されることになり、学生図書委員が交流会を企画しました。そのご縁で、学生図書委員と渡辺さんでデザインを一緒に考えてグッズを作成することになりました。</p> <p>帯のデザインは、渡辺さんとの2度目の交流会に新たな取り組みをしたいと思い、帯コンテストを開催することにしました。その際、渡辺さんにご了承いただいて当館が帯のデザインにkumoriを使わせていただきました。</p>
--	---

<p>質問先</p> <p>島根県立大学 短期大学部松 江キャンパス</p>	<p>Q:</p> <p>帯のコンテストはどのように行ったのでしょうか？</p> <p>A:</p> <p>kumoriという活動をしておられるデザイナーの渡辺ゆきのさんとの交流会に合わせて開催したもので、帯コンテスト自体は、以前このシンポジウムに参加した際に知った他大学の取り組みを参考にさせていただきました。渡辺さんにご了承いただきkumoriのデザインの帯を作成し、交流会の時に渡辺さんに審査をしていただきました。</p>
--	--